

種名	キンクロハジロ <u>Streptopelia orientalis</u> 												
	分類	ガンカモ目ガンカモ科											
特徴	長い冠羽を垂らし、金色の目をした黒と白の海ガモ類。ユーラシア大陸の亜寒帯で広く繁殖し、日本には主に冬鳥として多数が渡来する。北海道では少数が繁殖している。狩猟鳥。												
生活	越冬地では湖沼、広い川、池などで生活し、ホシハジロと同じ場所で見られることが多く、市街地の公園にも渡来する。数羽から数十羽の群れで見られ、海にでることは少ない。水中に潜って貝、古葉かななどの動物質の餌をとるが、水草などの植物質も食べる。繁殖地では水辺近くの草むらの地上に、草の葉や茎で皿形の巣を作る。産卵期は5～6月、抱卵日数は23～25日位である。												
声	あまり鳴くことはないが、オスは「ククク、ピュルルル」というような声で鳴き、繁殖期には口笛のような「フィー」というような声を出す。メスは飛び立つ時に「グーグー」と濁った声で鳴くのをスウェーデンで聞いた。												
見分け方	オスは全身黒く腹部だけが白い。メスは全身褐色で短い冠羽を持ち、目は金色、くちばしの基部に細い白色部が出ることもある。オス、メスともに飛ぶと、翼の広い翼帯が目立つ。												
時期	(月)	1	2	3	4	-	-	-	-	-	10	11	12
その他	全長(L) ♂ 44cm ♀ 38cm 翼開長(W) 65～76cm												
参考文献：山溪カラー名鑑　日本の野鳥													